

公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【総括】

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、多くの事業が従来通りの形で実施できた年度となりました。当館としては、8月10日に「詩とメルヘン絵本館」が開館25周年を迎えることを記念した各種事業が年度始めから続き、文化事業全般として充実した内容となりました。

当館の「詩とメルヘン絵本館」は、やなせたかし先生が編集長を務めサンリオ（旧・山梨シルクセンター）より発行していた雑誌『詩とメルヘン』から名をとったギャラリーであり、同誌のために描き下ろされた表紙原画をはじめとする挿絵やカット、原稿などをコレクションしている館でもあります。2003年に雑誌自体は30年間の歴史に幕を閉じましたが、2023年は1973年の創刊より50周年を迎える年でもありましたので、展覧会事業としては、サンリオのご協力を得ながら、今一度やなせ先生とサンリオとのつながりを広く知って頂くとともに、雑誌『詩とメルヘン』の歴史や、『いちご新聞』『リリカ』等、他のサンリオ発行物の中に残されていた、やなせ先生の作品を改めてご紹介し、初出展の資料や原画等とともに展示する記念展を実施しました。春より始めたサンリオの巡回展から夏の記念展に向け、約半年を通じて、やなせ先生とサンリオについてより深く知って頂ける内容となりました。

会期中には、やなせ先生とお仕事を一緒にされていた、『詩とメルヘン』の元編集者や、詩人、イラストレーター等を当館にお招きし、トークイベントを実施しました。『詩とメルヘン』の創作現場の裏側ややなせ先生との思い出話等を伺い、当財団としてもやなせ先生の仕事に対する思いやお人柄をしる貴重な資料となりました。またそれぞれが現在では作家として独立されご活躍されているお姿を通して、『詩とメルヘン』が与えた影響の大きさ、またやなせ先生が残された作品やその精神を後世へと紹介し続けていく当財団の役割についても再認識させられる内容となりました。

また、やなせ先生没後10年という節目の年ということもあり、やなせ先生が審査委員長を務めていた公募展「第25回OURギャラリー展」や、やなせ先生のアイデアから企画された「仮装して楽しもう！やなせたかしソング演奏自慢コンテスト」についても、より多くの方に認知して参加して頂けるよう応募数の増加に繋がる広報活動を実施しました。やなせ先生と多くのお仕事をともにされた、いずみたく氏の事務所であるオールスタッフ代表取締役社長・土屋友紀子氏とやなせスタジオ代表取締役・越尾正子氏をゲスト審査員にお招きし、特別賞をご提供頂くとともに、授賞式イベントではご登壇もいただき、やなせ先生を偲び、あらためてやなせたかしソングの魅力について語り合うパートをプログラムに盛り込み、貴重なお話を来館者にも共有していただくことが出来ました。

下半期は、絵本『あんぱんまん』誕生50周年という、もう一つ大きな節目も迎え、それを記念した展覧会をフレーベル館、トッパン、印刷博物館の御協力により実施しました。キンダーおはなしえほんの『あんぱんまん』に関しては、これまで表紙絵以外の原画が不在だったため全ページの展示ができておりませんでした。フレーベル館に残る絵本の原版よりトッパンの印刷技術で複製画の製作を試み、全てのページが原画に近い状態で復元することができました。連動企画展として、印刷博物館への作品貸出なども実現し、「原画」から印刷工程をへて「絵本」が制作される過程や印刷技術による特殊効果についてもご紹介することができました。製本過程を学ぶワークショップも好評で、通常の前原画展とは一味違う印刷物と

しての「絵本」の魅力にせまる企画展となりました。

また 12 月からは、高知ゆかりの人気絵本作家・田島征三氏の全国巡回展「田島征三 アートのぼうけん」展を開催しました。会場を詩とメルヘン絵本館と別館の 2 会場に分け、代表作『ちからたろう』『とべバッタ』などの約 30 冊の絵本原画のほか、現在に至るまで、アートの可能性に挑戦し続け、生命力あふれる革新的な作品を生み出す田島氏の画業を網羅的に紹介しました。初日には、田島氏が公開制作&スピーチイベントを実施され、県内外より多くのファンが新作の完成を見守りました。130 号のキャンバス 2 枚に渡って描かれた抽象画「夢の中から出た草の芽を探して、ここまで歩いてきた」は、本展の目玉として、会期中会場の入り口にて展示され、完成後は当財団へ寄託される予定となっております。

香美市立やなせたかし記念館の令和 5 年度の入館料は、前年対比約 106%、ミュージアムショップ収益は前年対比約 116%という数で推移し、コロナ禍明け、それぞれ復調傾向が続いております。ただし、財団職員の退職による減少が続く、秋より十分な人員体制を整えられなかったことから、市とも協議の上、年末年始、ならびに 3 月の学校が春休み期間のところ、臨時的に休館措置をとらざるを得ない状況となりました。入館者数の確保という点においては、12 月 26 日より元旦まで 7 日間にわたり開館以来はじめて臨時休館をしたことは、苦渋の決断ではありましたが、これを機に、職員の待遇等の問題とも向き合い、売り手市場の中で優秀な人材の確保にむけてどうすべきか、財団内でも議論が活発化したことは、今後のために有意義であったと考えております。

10 月には、NHK 連続テレビ小説で、令和 7 年度 4 月からやなせ先生と暢夫人をモデルにした物語「あんばん」が放映決定となった発表もされ、ふたたびやなせ先生に注目が集まることとなりました。また当館を始めとする香美市や南国市にあるやなせ先生所縁の地へも今後多くの観光客が訪れることが予想されることから、令和 7 年度にむけ香美市や高知県とも連携しながら、令和 6 年度後半は施設の改修工事や展示の増設など準備をすすめていく予定となっております。令和 7 年度の翌年にあたる令和 8 年度は、アンパンマンミュージアムが開館から 30 年目に入りますので、令和 7 年度～8 年度と 2 カ年合わせて、コロナ禍前の賑わいを再び取り戻せるよう、職員体制も整えて臨んで参りたいと存じます。

当財団としましては、令和 7 年 2 月 6 日のやなせ先生の生誕日に、「第 3 回やなせたかし文化賞」の発表も控えております。NHK の朝ドラ効果とともに、やなせ先生の遺言である文化賞事業に関しても全国の皆様へむけ、より広く積極的に周知し、新しい才能の発掘や育成に寄与できる賞へと育てて参りたいと存じます。様々なタイミングが重なり、当財団職員の業務量が増えることも懸念されますが、職員の増員も引き続き行い、万全な体制をもって、やなせ先生の御遺志を受け継いでいくため、引き続き職員一同努力してまいります。

【事業内容】

1. 公益目的事業

公 1 まんが・芸術文化振興事業

① 収蔵作品等の保存管理業務

やなせたかし氏や関係各社からの寄贈・寄託作品を資料としてデータベースの管理を行う。

② やなせたかしやアンパンマン関連情報の収集・広報活動及び館の宣伝

ライセンスのメーカー各社より預かったキャラクターグッズサンプルの保管、展示を行う。

その他、県内外での有効な宣伝活動の実施。

○FM 高知 県内小学校防犯ブザーキャンペーン協賛。

○土佐電鉄ボディ広告（2 車両）実施。

○公募サイト「登竜門」、公募雑誌『公募ガイド』の誌面ならびに ONLINE 広告掲載。

③企画展・イベント等の実施

1. 画業 60 年のかわいい伝説 花村えい子と漫画

会期：2 月 11 日（土）～4 月 9 日（日）開館日数 52 日間

会場：詩とメルヘン絵本館

入場者数：3,843 人（大人 2,758 人／中学生 57 人／小人 640 人／幼児 388 人）

やなせ先生とも長年交流のあった漫画家・花村えい子氏の画業 60 年を記念した全国巡回展。スケッチブックや塗り絵などの文房具に使われたイラスト原画のほか、連載マンガ『霧のなかの少女』等の生原稿など 110 点以上を展示。当館限定企画として、やなせ先生と花村氏の親交について紹介するコーナーや会場限定オリジナルシールのプレゼント、フォトプロップスの工作コーナー等も実施。会期中には花村氏のご息女・ひろ子氏も来高され、展覧会を鑑賞された。

2. 詩とメルヘン絵本館開館 25 周年記念 ハローキティといっしょに SDGs

会期：4 月 15 日（土）～5 月 14 日（日）開館日数 30 日間

会場：詩とメルヘン絵本館

入場者数：2,956 人（大人 1,969 人／中高生 42 人／小人 529 人／幼児 416 人）

関連企画：4 月 16 日（日）SDGs スペシャルステージ

国連サミットで採択された国際社会共通の達成目標「SDGs」をハローキティが子どもたちにも分かりやすく紹介する企画展。会場では、動画や模型などを使って 17 のテーマを楽しく分かりやすく紹介。世界の現状と今から自分たちに何ができるのかを考えるヒントが得られる展示となった。会場内には、デジタルぬりえコーナーや、ハローキティのフォトプロップス等も用意。参加型のブースを増やしたことにより、親子連れの姿が多くみられ会場での滞在時間を延ばすことに成功した。

3. 詩とメルヘン絵本館開館 25 周年記念 サンリオキャラクターコミック展

会期：5 月 20 日（土）～7 月 17 日（月祝）開館日数 51 日間

会場：詩とメルヘン絵本館

入場者数：4,888 人（大人 3,449 人／中高生 80 人／小人 712 人／幼児 647 人）

サンリオ発行の『いちご新聞』等から厳選したイラストコミックを展示。本展では懐かしい 1970 年代のコミック「パティ&ジミー」から、「ハローキティ」、「マイメロディ」、「シナモロール」など今の子どもたちにも馴染み深いキャラクターのコミックが並んだ。また、本展では『いちご新聞』印刷前の版下原稿も展示。デザイナーが描いた線や色の指示、写植などサンリオの制作の裏側も紹介する展示内容となった。

4. 詩とメルヘン絵本館開館 25 周年・雑誌『詩とメルヘン』創刊 50 周年記念展

やなせメルヘンの世界～雑誌『詩とメルヘン』とサンリオ～

会期：7 月 22 日（土）～9 月 24 日（日）開館日数 62 日間

会場：詩とメルヘン絵本館

入場者数：6,144人（大人4,155人／中高生126人／小人1,061人／幼児802人）

詩とメルヘン絵本館開館25周年と雑誌『詩とメルヘン』の創刊50周年を記念し、絵と文章を組み合わせ、大人も子どもも区別なく楽しめる読み物を求めてつむがれた「やなせメルヘン」の世界を紹介する展示。やなせ先生の初期の作品創作と深くかかわっていたサンリオより、貴重な『リリカ』創刊号や『いちご新聞』なども借用し紹介した。また、サンリオの『いちご新聞』元・編集長の高桑氏からも周年に寄せたメッセージも頂き、会場でパネル展示を行った。

5. 仮装して楽しもう！やなせたかしソング演奏自慢コンテスト

応募期間：6月中旬～8月31日（木）

応募総数：80作品（過去最多タイ）

授賞式イベント：10月29日（日）アンパンマンミュージアム・シアター

審査員：歌手 大和田りつこ・岡崎裕美・ドリーミング

オールスタッフ代表取締役 土屋友紀子

やなせスタジオ代表取締役 越尾正子

受賞者：

1等賞 アンパンマンとビーナッツマダムス「アンパンマンのマーチ」

2等賞 JMS合唱団「ジャマスルナ・ワルツ」

3等賞 LiLu feat.G「いくぞ！ばいきんまん」

Musical Company ZERO「手のひらを太陽に」

いずみたく賞 Cartilage「くろゆき姫のタンゴ」

やなせスタジオ賞 ゆうきりんりん「あくびするカミサマ」

フレーベル館賞 やまもと農園 with Q「ありがとう野菜」

香美市長賞 吹笑部「虹色の歌」

財団賞 パン工房 Hikari「アンパンマンたいそう」

やなせ先生の作詞・作曲、もしくはそのいずれかを手掛けている楽曲を選び、参加者たちが思い思いの衣装で楽しく演奏するコンテストの第8回目。作品募集はコロナ禍より引き続きオンラインで実施した。やなせ先生の没後10年という節目の年となる今年は、これまで以上にバラエティーにとんだ作品が集まった。授賞式では、審査員5名によって、やなせたかしソングの魅力を語り合うスペシャルトークイベントも行った。

6. 一般公募作品展 第25回 OUR ギャラリー展

応募期間：5月中旬～9月18日（月・祝）当日消印有効

テーマ：「記念」 応募総数：870点（過去2番目に多い応募数）

審査員：詩人・朗読家 詩村あかね（ゲスト審査員）

漫画家 くさか里樹

イラストレーター 雨宮尚子

漫画家・紙芝居作家 岡本篤志

関連イベント：10月8日（日）13：30～詩村あかねの、こどもとおとなのおはなし会

～コトバとあそび！～

展示期間：11月11日（土）～12月17日（日）開館日数33日間

会場：別館

入場者数：2,877人（大人1,911人／中高生30人／小人485人／幼児451人）

“私たちの作品展”こと OUR ギャラリー展は、5・7・5 調の 17 文字の詩とイラストをかいたはがきサイズの作品を募集する公募展。2023 年で 25 回目を迎え、今年のテーマは「記念」。詩とメルヘン絵本館が開館 25 周年、雑誌『詩とメルヘン』創刊 50 周年、絵本『あんぱんまん』誕生 50 周年の記念の年であり、やなせたかし没後 10 の節目の年でもあることから、それぞれの「記念」を描いた作品を募集、全国より 870 点の作品が集まった。10月8日に審査会を実施し、大賞1点とOURギャラリー賞5点を選出。11月からの展示では受賞作とその選評のみならず応募作品を全てを紹介した。

7. 詩とメルヘン絵本館開館 25 周年・絵本『あんぱんまん』誕生 50 周年

絵本『あんぱんまん』～はじまりのアンパンマン～

会期：9月30日（土）～12月17日（日）開館日数68日間

会場：詩とメルヘン絵本館

入場者数：7,081人（大人4,953人／中高生59人／小人991人／幼児1,078人）

関連イベント：9月30日・10月1日・21日・22日 ノートづくりワークショップ

「マイノートをつくろう！～中綴じ製本体験～」

10月14日・15日 アニメ「勇気の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語」上映会

当財団が所蔵していた絵本の表紙原画と、本編複製画（プリマグラフィ）を展示するとともに、同時期に描かれた『あんぱんまんとごりらまん』『あんぱんまんとばいきんまん』原画を展示。アンパンマンが絵本として誕生した変遷などを紹介した。そのほか、フレーベル館とトッパンのご協力により、校正紙や色校紙などの普段一般の方が目にしない資料も展示し、作者が描いた原画から書店にならぶ「絵本」となるまでの印刷工程など絵本製作の裏側もあわせて紹介した。

10月3日（火）の「アンパンマンの日」に行われた内覧会では、美良布保育園を招待し、香美市内の保育園・幼稚園を代表し、絵本の贈呈式を行った。（当財団より市内の保育園・幼稚園全園に対して、『やなせたかしのあんぱんまん 1973 シリーズ』（絵本6冊セット）を寄付した。）

8. 田島征三 アートのぼうけん

会期：12月23日（土）～令和6年2月25日（日）開館日数51日間

会場：詩とメルヘン絵本館&別館

入場者数：6,954人（大人4,848人／中高生59人／小人1,071人／幼児976人）

関連イベント：12月23日 公開制作&スピーチ「絵本のちから いのちの力」

令和6年1月21日 映画「絵の中のぼくの村」上映会

令和6年2月11日・24日 絵本おはなし会

全国で4会場目となった本展では、学生時代の作品から『ちからたろう』『とべバッタ』などの代表作を含む約30冊の絵本原画と、油彩画・リトグラフ・立体作品など、185点を展示した。学生時代から現在に至るまでの作品を6章にわけ、田島氏の画業を網羅的に紹介し

た。関連イベントの公開制作は3時間30分及び、130号のキャンバス2枚に渡る大作を描き上げた。田島氏が作品の制作と同時に、会場に集まった観客と対話するように、これまでの体験や作品解説、近況の活動紹介などについて話をされ、目と耳と両方で鑑賞するイベントとなった。

④展覧会の職員の視察研修など

職員出張（展覧会打ち合わせ・視察調査ほか）

4月2日 さぬきこどもの国 oioi 公演 視察

5月31日 オールスタッフ公演 視察

6月1日 『保育ナビ』取材協力 東京出張

6月17日 田島征三イベント視察（大阪大谷大学）出張

7月25-26日 同上 京都ヒルゲートギャラリー 出張

8月3-4日 印刷博物館 展示確認出張

9月3-4日 かがくいひろし展（イルフ童画館）視察

9月15-16日 田島征三展（藤枝市美術博物館）視察

講演出張（事務局長）

11月15日 第62回高知県精神保健福祉大会（県民文化ホール）

高知こどもの図書館 団体賛助会員

⑤環境整備事業

やなせたかし記念公園、やなせたかし朴^ほノ^の木公園、やなせたかし・ごめん駅前公園の管理。

⑥やなせたかし氏関連イベントへの協力

8月6日（日）第32回まんが甲子園「やなせたかし賞」への協力（「やなせうさぎ」出張）

令和6年2月4日（日）第20回「ハガキでごめんなさい」全国コンクールへの協力

「やなせたかし賞」選定、表彰式参加

⑦収蔵品貸し出し

7月22日（土）～9月24日（日）「絵本『あんばんまん』～はじまりのアンパンマン～」

貸出先：印刷博物館 P&P ギャラリー（東京都文京区）

貸出物品：複製画32点、原画1点、ラフ1点

貸出料：110,000円（税込）

⑧第3回やなせたかし文化賞事業

「第3回やなせたかし文化賞」令和6年1月15日 推薦応募締め切り

応募総数99点（うち候補者数85点。重複有のため）

読売新聞社への委託業務（推薦書の取りまとめ、推薦者への返礼品の送付）

公式サイトの情報更新

公2 美術館運営事業（香美市立やなせたかし記念館指定管理業務）

香美市より指定管理料 4期分 合計 83,680,000円

- (1) アンパンマンミュージアム・詩とメルヘン絵本館・別館の管理運営
建物の保守管理、入館料等の金銭管理・経理事務、入館者の管理、事業運営を行う。

① 入館料徴収他経理業務（香美市の代行）

令和5年度（4月1日～令和6年3月31日） 詳細は別紙参照

アンパンマンミュージアム 112,357人（前年対比104.3%）

詩とメルヘン絵本館 30,849人（前年対比113.9%）

別館 9,852人

入館料合計 62,020,325円（前年対比105.5%）

※臨時休館を実施 令和5年12月26日（火）～令和6年1月1日（月祝）7日間

令和6年3月26日（火）本来は無休期間内だが火曜日休館とする。

年度途中で職員の退職が続き、職員を急募したものの休館日を設けずに無休として連続開館を実施するために必要最低限の1日の出勤職員数が揃わない状況が改善されないことから、無休期間を続けることが難しくなったため、香美市との協議のうえ、臨時的に休館日を増やした。

※コロナ禍前との比較のため、令和元年からの推移を明記。令和3年度より入館料の変更あり。

令和5年度は上記の臨時休館日が増えたため、全体の入館者数・入館料に変動あり。

APM…アンパンマンミュージアム PMG…詩とメルヘン絵本館

	APM 入館者数	PMG 入館者数	入館料合計
令和5年度	112,357	30,849	62,020,325
令和4年度	107,725	27,076	58,792,404
令和3年度	77,672	30,754	41,324,823
令和2年度	63,887	23,049	30,683,520
令和元年度	123,438	33,914	58,593,905

② 建物・展示の修繕・保守等

アンパンマンミュージアム展示物定期メンテナンス実施。（トータルメディア開発研究所）

それぞれの設備に経年劣化したもの、不具合が見つかったものは必要に応じて、修繕工事を実施。（詳細は別紙「建物・展示物修繕、変更等一覧」参照）

アンパンマンミュージアム・詩とメルヘン絵本館 定期清掃の実施。館外周花壇等植栽管理。

③ 香美市内児童への入館割引対応

3歳～中学生への年間6回利用できる無料パスポートの配布。

配布数：2,265枚（中学生502枚・小学生1,154枚・保育園118枚・幼稚園491枚）

半年間の利用数：530人（中学生5人・小学生220人・保育園／幼稚園305人）

④ 広報活動

- 広報誌 年間4回の発行を行い、香美市の広報と共に回覧。

「やなせたかし記念館ニュース」vol.99(2023.6発行) vol.100(2023.9発行)

香美市内回覧（区長便）、館内配布、県内文化施設・図書館等配布。

全国アンパンマンこどもミュージアムへの配布。

- フリーペーパー「こじゃんと」広告掲載。
- 記念館公式 HP/Facebook/Instagram のアカウント管理・運用。
- JR 東京駅地下八重洲側コンコース電飾ボードへの年間行事告知ポスター掲出。
- JR 四国土佐山田駅時刻表の広告掲載。
- ごめん・なはり線時刻表 2023 広告掲載。
- アニメ・ツーリズム協会関連広報物への情報掲載。

⑤ 入館者確保の努力、入館券販売促進

- 高知県・四国などの観光関連協会等に協力し、入館料割引協力などを行うことによる広報活動の実施。

「南国 I. C. わくわくゾーン」協議会（歴史民俗資料館・アクトランド・龍河洞・西島園芸団地・のいち動物公園）の活動参加協力。マップ制作・スタンプラリーの実施。
高知県観光コンベンション協会 各種キャンペーン参画。

- 隣ホテル「The 6th Diary Kahoku Hotel & Resort」でのチケット販売（割引）協力。
- 高知市旅館ホテル協同組合、JTB、KKday (台湾)、ブルーチップとのチケット販売に関する協定締結。
- JR 四国・駅長推薦あじな散歩道「高知やなせたかし記念館プレミアムきっぷ」やセット券、「JAL 麗らか四国キャンペーン」などの旅行パックプランへの割引協力による販売促進。
- 香美ミュージアムスタンプラリーへの参画。（香美市立美術館・香美市立吉井勇記念館との3館をめぐるスタンプラリー企画。
- 物部川 DMO 協議会への参加協力、情報提供。
- 入館特典（バースディーシール）配布。
- オリジナルアプリを利用したやなせたかし記念館内アートラリー実施。
- 詩とメルヘン絵本館開館 25 周年記念 年間パスポート新柄発行 7 月 1 日～

(2) 文化事業の実施

やなせたかし氏の作品展示やマンガ・アニメーションに関する事業、絵本や詩、イラストに関する企画を行う。アンパンマンミュージアム、詩とメルヘン絵本館へのやなせたかし氏の作品他、財団所蔵作品の展示（特別企画展の時期を除き、年間約 4 回程度作品を替えて展示。）

① 文化事業（展覧会・イベント）

アンパンマンミュージアム 4 階やなせたかしギャラリー企画展

春の企画展 1 「アンパンマンとあかいしま」 3 月 8 日（水）～4 月 24 日（月）

春の企画展 2 「いろいろ印刷大集合！」 4 月 26 日（水）～7 月 3 日（月）

夏の企画展 「熱血メルヘン 怪傑アンパンマン」 7 月 5 日（水）～10 月 2 日（月）

秋の企画展 「やなせたかしとキンダーブックのあゆみ」 10 月 4 日（水）～12 月 11 日（月）

冬の企画展 「アンパンマンとひかるゆき」 12 月 13 日（水）～令和 6 年 3 月 18 日（月）

- 6月18日(日) 新作映画試写会「それいけ!アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント」
 会場: アンパンマンミュージアムシアター
 1日2回上映 10時半/13時半 延べ254名参加
- 7月7日(金) セタイベント
 アンパンマンミュージアム大階段上に笹を設置し、来館者が短冊に願い事を書いて飾った。
- 8月10日(木) 詩とメルヘン絵本館 開館記念日イベント
 無料開放 入館者数:全館合計1,036人(アンパンマンミュージアム674人・絵本館362人)
 10時半~記念式典 美良布保育園参加 バルーンリリース実施
 先着250名に記念ロゴ入りクッキーの配布
 11時/13時 1日2回「それいけ!アンパンマン」ショー開催
- 8月11日(金) 詩とメルヘン絵本館開館25周年記念 スペシャルトークイベントⅠ
 『詩とメルヘン』を振り返る~雑誌の裏側・編集~小河修子氏×梯久美子氏
- 9月24日(日) 詩とメルヘン絵本館開館25周年記念 スペシャルトークイベントⅡ
 『詩とメルヘン』を振り返る~詩人×イラストレーター~小手鞠るい氏×黒井健氏

地元の子どもの作品展 未来の巨匠展 Vol.20

会期: 令和6年3月2日(土)~10日(日)8日間

会場: 別館(入場無料)

入館者数: 549人(大人330人・中高生1人・小人160人・幼児58人)

20回目となった本展は、保育園6園、幼稚園2園、小学校8校から403点の作品が集まった。

② 視察・事前交渉などのために県外出張・館運営に関する職員研修ほか

県内文化施設・博物館施設等との連携活動

○こうちミュージアムネットワーク 幹事会4月19日(火)・総会5月24日(水)

○高知県文化施設協議会

○展示改修工事に関する打ち合わせ日帰り出張 令和6年3月6日(水)

トータルメディア開発研究所(東京)

2. 収益事業等

収1 ショップ運営事業

香美市立やなせたかし記念館内ミュージアムショップ営業や展覧会事業に伴う外部販売

令和5年度(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

アンパンマンミュージアム ショップ等販売収入 48,322,850円(前年対比121.5%)

詩とメルヘン絵本館 ショップ等販売収入 3,755,756円(前年対比72.0%)

図書等販売収入 合計 52,078,606円(前年対比115.8%)

※コロナ禍前との比較のため、令和元年からの推移を明記

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
図書等販売収入	52,078,606	44,969,570	28,648,025	25,803,397	68,828,830

UTme!オリジナルTシャツ制作・販売 5月下旬～8月31日

高知県内のユニクロ4店舗と県内の観光地や企業が連携したTシャツ制作企画に参加。

やなせたかしイラスト2種と詩とメルヘン絵本館開館25周年ロゴイラストを用いたオリジナルTシャツやトートバックを制作、5月のGW連休中の黒潮町で開催された「Tシャツアート展」にも展示された。

ショップ商品委託販売

7月22日(土)～9月24日(日)「絵本『あんぱんまん』～はじまりのアンパンマン～」

印刷博物館(東京都文京区)委託販売 359,542円

8月20日(日) アンパンマン新作映画会上映会 佐川町立桜座 委託販売 11,176円

負担金など

香美市観光協会 令和5年度会費

高知こども図書館 令和5年度会費

そのほか地域活動への協賛金等

4月22日(土) 第15回土佐塩の道30kmウォーク

6月10-11日(土・日) 第32回よさこいソーラン祭実行委員会

7月27日(日) 川上様夏祭り

8月5日(土) 土佐山田まつり

8月14日(月) 奥物部湖湖水祭り

収2 著作権管理業務

オリジナル商品製作・商品ロイヤリティ管理

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

他施設でのアンパンマンサブレ・版画販売によるロイヤリティ等収入 134,943円

アンパンマン、やなせたかし著作権関連の高知における問い合わせ窓口業務

やなせスタジオ・日本テレビ音楽・フレーベル館等著作権者へのつなぎ業務

他1 その他の事業(やなせたかし先生の資産等管理事業)

やなせたかし先生の法要の実施ほか、遺贈資産の管理、やなせ文化振興に関連する事業等への協力等の活動を行う。

8月9日(水) 高照寺にて、やなせたかし先生お盆供養

お彼岸や、お誕生日の御供花の実施

3. 法人管理業務

理事会・評議員会等の開催

	開催日	議案など
令和4年度決算監査	令和5年5月18日	令和4年度財団決算 監査
第23回定例理事会	令和5年5月26日	令和4年度事業報告書・計算書類承認の件 基本財産の追加に伴う定款の変更について 定例評議員会の開催について
第12回定例評議員会 (書面議決)	令和5年6月12日	令和4年度事業報告書・計算書類承認の件 基本財産の追加に伴う定款の変更について
第1回臨時理事会	令和5年7月5日	代表理事による職務執行報告 職員の夏季賞与について その他の報告
第2回臨時理事会	令和5年11月6日	代表理事による職務執行報告 やなせたかし展示館建設の件 NHK テレビ小説「あんぱん」放映決定の件 その他、臨時休館措置等について
令和5年度中間決算監査	令和5年11月17日	令和5年度中間決算 監査
第3回臨時理事会	令和5年12月1日	令和5年度上半期事業報告について 令和5年度上半期計算書類について 職員の冬季賞与について その他の報告
第24回定例理事会	令和6年2月21日	令和6年度事業計画承認の件 令和6年度予算書承認の件 評議員会の開催について その他の報告
第1回臨時評議員会	令和6年3月13日	令和6年度事業計画承認の件 令和6年度予算書承認の件 その他の報告

○ 顧問公認会計士・眞鍋清氏、顧問税理士・竹内靖氏による電話指導

4. 財団職員の状況 (令和6年3月31日現在)

【常勤】

正職員 3名 (財団事務局長 1名・学芸員 2名)

無期雇用職員 2名 (記念館サービススタッフ・リーダー 1名・経理事務補助 1名)

有期雇用職員 5名 (記念館サービススタッフ 5名)

【非常勤】

嘱託職員 1 名（経理事務）

アルバイト・パート 14 名

（ジョブ等レジ 7 名 ・ キャラクタースーツアクター他 4 名 ・ 学芸補助 2 名 ・ 経理補助 1 名）

合計 25 名

5. 財団役員の様況

公益財団法人（令和 6 年 3 月 31 日現在）

理事 5 名・監事 2 名・評議員 8 名

役員	氏名
理事長	明石 猛
専務理事	岡本 篤志
理事	公文 裕
理事	越尾 正子
理事	三谷 由香理
監事	浜田 貞一
監事	大利 義房

役員	氏名
評議員長	宮地 憲一
評議員	熊瀬 東作
評議員	吉川 隆樹
評議員	小松 紀夫
評議員	和田 高明
評議員	生島 淳
評議員	正木 秀尚
評議員	白川 景子